

18年連続でレンズ交換式デジタルカメラの世界シェア No.1 を達成

キヤノンは、レンズ交換式デジタルカメラ（デジタル一眼レフカメラおよびミラーレスカメラ）の世界市場において、2003年から2020年まで18年連続で台数シェア No.1<sup>※1</sup> を達成しました。

■ 2020年に発売した主なレンズ交換式デジタルカメラ



デジタル一眼レフカメラ  
「EOS-1D X Mark III」



ミラーレスカメラ  
「EOS R5」



ミラーレスカメラ  
「EOS Kiss M2」

キヤノンのレンズ交換式デジタルカメラ EOS シリーズは、「快速・快適・高画質」を基本コンセプトとして、キーデバイスである CMOS センサー、映像エンジン、および交換レンズを独自に開発してきたイメージングシステムです。プロから高い信頼を得ている高性能なフラッグシップモデルから、簡単な操作で高画質な撮影を楽しむことができるエントリーモデルまで幅広い製品ラインアップをそろえています。多彩な表現を可能にする合計 118 本<sup>※2</sup> もの豊富な「RF/EF レンズ」とともに、お客さまの多様なニーズに応え続けています。

2003年9月、黎明期（れいめいき）におけるデジタル一眼レフカメラとして、画期的な小型・軽量と低価格を実現したエントリーモデル「EOS Kiss Digital」を発売することで、市場拡大のきっかけを作り、世界シェア No.1 を獲得しました。その後もプロ向け EOS-1D シリーズや、一眼レフカメラによる動画撮影を普及させた EOS 5D シリーズなどの時代を切り開く製品を提案してきました。2018年10月には、撮影領域のさらなる拡大と新しい映像表現の可能性を追求した「EOS R システム」のフルサイズミラーレスカメラ「EOS R」、および光学技術を最大限に生かした RF レンズを加え、「EOS システム」を拡充してきました。フィルム時代からの長きにわたる幅広いユーザーの支持のもと、2019年には、EOS シリーズの累計生産台数 1 億台<sup>※3</sup> という大きな節目を迎えることができました。

2020年も、キヤノンの最新技術の搭載により、次世代の映像表現を追求したフルサイズミラーレスカメラ「EOS R5」（2020年7月発売）をはじめとする魅力的な製品を発売<sup>※4</sup> し、ラインアップのさらなる充実を図ることで、2003年から18年連続で世界シェア No.1 を達成しました。

キヤノンは、これからも光学技術を中心に映像技術に磨きをかけ、EOS シリーズを RF/EF レンズシリーズと共にさらに強化・拡充することで、新たな映像領域を切り開き、写真・映像文化のさらなる発展に貢献していきます。

※1 キヤノン調べ。

※2 映像制作用の EF シネマレンズ（EF マウント/PL マウント）30 本、エクステンダー 4 本含む。2021年3月29日時点。

※3 映像制作用のシネマカメラを含む。

※4 2020年に発売したレンズ交換式デジタルカメラは、「EOS-1D X Mark III」（2020年2月発売）、「EOS Kiss X10i」（2020年6月発売）、「EOS R5」（2020年7月発売）、「EOS R6」（2020年8月発売）、「EOS Kiss M2」（2020年11月発売）の5機種。